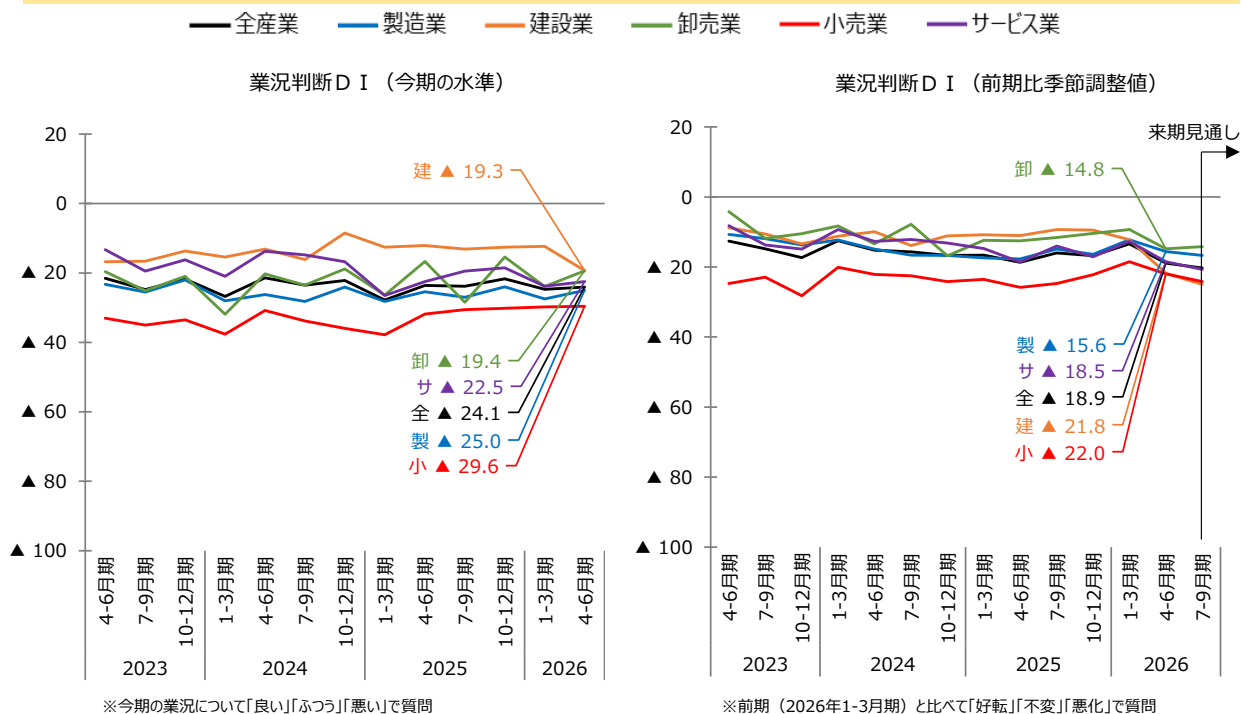


第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 近畿

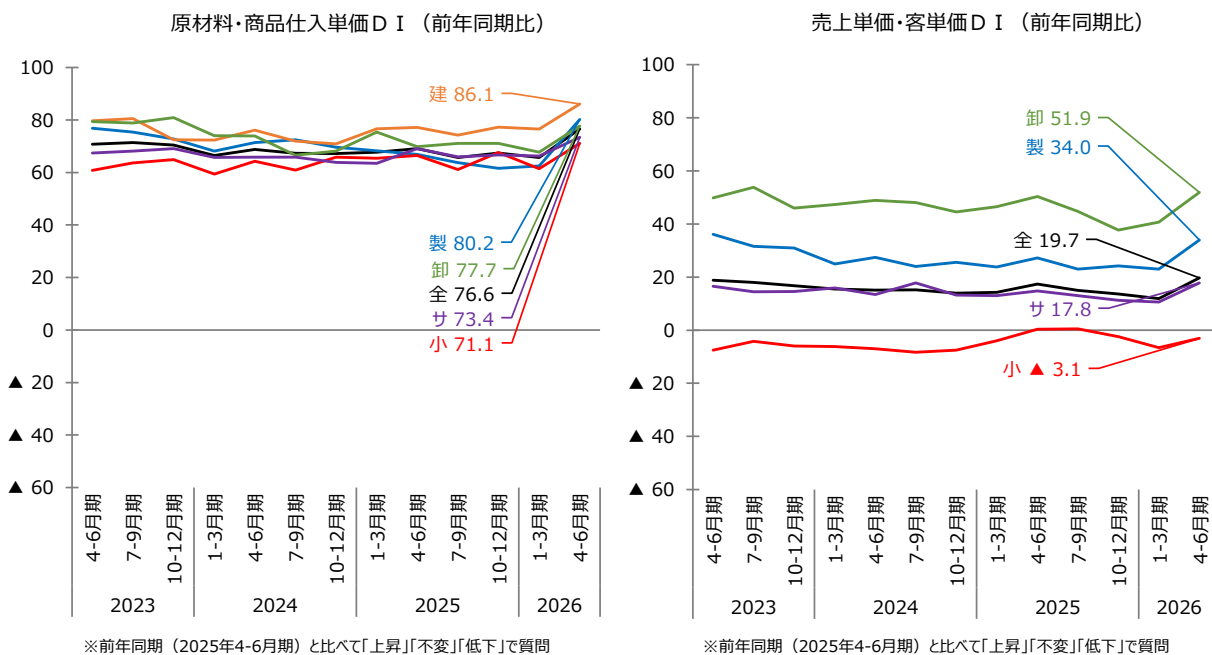
1. 業況感

近畿地域の中小企業の業況判断DI（今期の水準）は、全産業で前期（2026年1-3月期）より0.6ポイント増の▲24.1と2期ぶりにやや上昇した。産業別にみると、卸売業、製造業、サービス業、小売業は上昇し、建設業で低下した。



2. 仕入単価・販売単価

原材料・商品仕入単価DIは、全産業で前期より10.9ポイント増の76.6と2期ぶりに大幅に上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。また、売上単価・客単価DIは、全産業で前期より7.8ポイント増の19.7と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、すべての産業で上昇した。



＜調査概要＞ 調査時点は2026年6月1日、調査対象は中小企業基本法に定義する全国の中小企業

今期の調査対象企業数：18,834 有効回答企業数：17,734 有効回答率：94.2% うち、近畿：2,511企業

※本資料の集計対象の都道府県は、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県です。

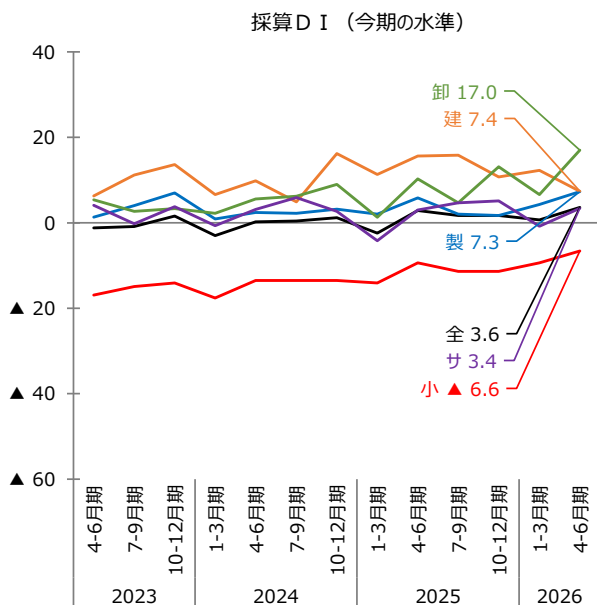
第184回 中小企業景況調査（2026年4-6月期） 近畿

3. 採算

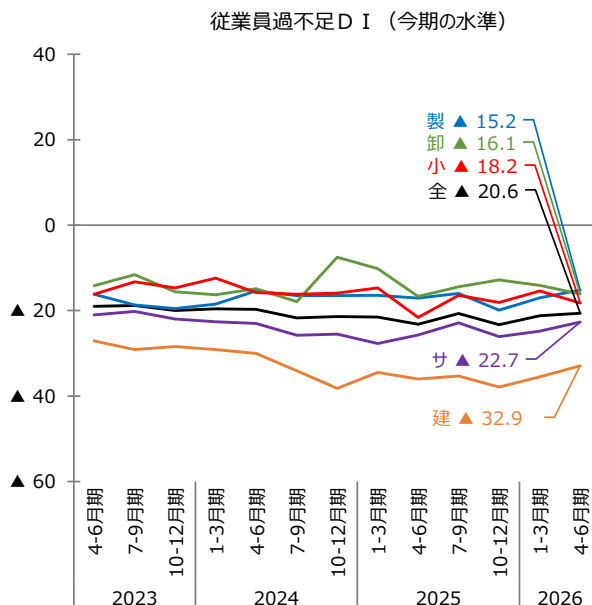
採算DIは、全産業で前期より2.9ポイント増の3.6と4期ぶりに上昇した。産業別にみると、卸売業、サービス業、製造業、小売業で上昇し、建設業で低下した。

4. 従業員過不足

従業員過不足DIは、全産業で前期より0.6ポイント増の▲20.6と2期連続してやや上昇した。産業別にみると、建設業、サービス業、製造業で上昇し、小売業、卸売業で低下した。



※今期の採算について「黒字」「収支トントン」「赤字」で質問



※今期の従業員について「過剰」「適正」「不足」で質問

5. 近畿の中小企業の声

業況判断の背景		業種	
現 状	客先から半導体関連、船舶関連商品の部品受注が増加したため、自社の売上が増加した。	製造業	他に分類されない金属製品製造業
	中東情勢の悪化で、材料の入手困難と金額の上昇等で予定が組めないこと、物価高で今以上に利益が減ることがある。受注のめどが立たない。	建設業	板金工事業
	ナフサの影響は、中小企業へ大きなダメージとなっている。ロットが小さいため、WEBで資材を購入しているが、そうしたルートへの供給は軒並みストップしており、袋詰め用資材が手に入らない。	卸売業	野菜卸売業
	近隣医療機関への患者数が減少しており、当所への患者数も減少している。また、石油関連製品の影響により、当所で扱う消耗品も入手しづらくなってきて苦労している。	小売業	調剤薬局
	どの業界においても、中東情勢による材料の仕入単価が上昇している中、当業界も資材一律20%~30%上昇し、商品への価格転嫁が進まず、また、資材の調達にも遅れが生じており、納期が遅れている現状である。	サービス業	広告業
見 通 し	2月末、米国のイラン攻撃後4月5月と徐々に経済状況が悪くなり、印刷業界にも波紋が広がり売上が大きく減少してきた。諸材料も値上がり、先行きが不透明である。	製造業	紙器製造業
	中東の影響で資材の入手難。単価上昇の影響で工事の引き合いはあるものの見通しが立てにくい状況。加えて、職人不足の問題もあり、工事の予定が不透明である。	建設業	一般土木建築工事業
	戦争の影響と仕入先メーカーのシステムトラブルによるダブルパンチで商品が入荷せず納期未定のものばかりで見通しが立たない。	卸売業	塗料卸売業
	イラン戦争により4月から石油関連商品（ポリ袋、食品ラップ）の値上げが続いている。秋には、トイレットペーパー、ティッシュや他の商品の値上げが考えられる。	小売業	その他の各種商品小売業
	前期でインバウンドが落ち込んでいたが、徐々に回復した。前年と比べると万博がない分、滋賀に客足が向いているように感じる。ただ、来期について、国内も海外も良くない。予約の間際化が進んでいるのか、原因はわからない。	サービス業	旅館、ホテル

※中小企業景況調査の自由回答(フリーコメント)